

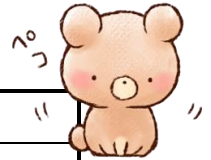


オリーブ通信

2021年
6月号
2021.6.12発行
第234号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

よろしく
お願いします



2021年度 オリーブ役員・係

5月16日の総会で承認されました。

代表	恩地	キラリエサポーター	内田千
会長	豊村	ホームページ	中川・豊田
副会長	内田幸	メーリングリスト	内田栄
会計	小春・杉山仁	KIFA	恩地
会計監査	杉山美・内田幸	ボランティア保険	中川
庶務	中川・吉田瑛・永井	BNN	豊田・(河村)
受付	河村・笹原	オリーブブログ	豊村
入会	吉田瑛・笹原・小春	Facebook	吉居・恩地・小春
オリーブ通信	中溝・遠藤・福井・(恩地)	出席簿作成	小春
		部屋予約	河村



中川先生のへんてこ日本語

タップする

129



「タップする」という言葉を聞くようになった。スマホやタブレットで目的のバナーやアイコンに「タッチする」ことである。なぜ「タッチ」ではないのか。さながらタップダンスのように、軽快に触れることをイメージしているのだろうか。マウスならクリック、「カチカチ」という感じがする。

私などは、パソコンとキーボードがなければ文字入力できないが、学生たちは、あの小さなスマホ画面に平気で入力してくる。あのキーボードのカチカチになんとも言えぬ充実感を覚えるのだが、学生は、スマホでメールどころか、レポートや卒業論文まで作成する。慣れの問題かもしれないが「ようやるわ」。いややはり「タッチ」ではなく、「タップ」だ。実に軽快に入力している。

ところで「く」にタップする／＼をタップする、どちらが正しいのか。「タッチする」なら、「く」と「くを」とでは意識が異なる。「尻に触る」は偶然「触れる」ことかもしれないが、「尻に触る」は意識的に「触る」であり、逮捕されてしまう。つまり目的の場所「を」意識的に「タップ」するのである。

最近では駅などの券売機でも、押しボタン方式からタッチパネル方式に移行しつつある。最初に切符の種類や行先、支払い方法などを選ばなければならないことも多い、観察していると、若い人は軽快にタップし、私などの年寄りほとんどよりタッチしている。

留学生にスマホの使い方を聞いたところ、「赤いところを押して」というので押してみたが、反応しない。学生にやってみたら即反応する。どうやらコロナ禍で、教室を移動するたびに手を消毒するせいだ、指先が乾燥し、反応しにくくなっているようだ。年を取ると油っ気がなくなってしまう。

触る、触れる、タッチする、タップする、学習者から審問を受けそうだが、こんな似た言葉は、日本語にタップりある。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

?教え方の悩み、ありませんか？

11月からオリーブに参加させて頂いています。目の前のテキストの勉強をしていますか？基本的に何から身につけていいのか迷いながら土曜日を迎えています。ゆっくりご経験がきけたらいいなと思います。(田中英子)

そうなんです。コロナの影響で、毎週の教室を開催するだけでも感染者を出さないかとヒヤヒヤもので、会員同士がゆっくり悩みを相談したり、交流したりする時間を持てません。感染リスクも気になるし。

でも、以前は違ったんです。授業の前後や総会後の交流会などで、自分の教える学習者さんについて具体的に相談したり、教え方を相談したりできましたし、オリーブ内の教え方教室やKIFAやBNNの教え方講座もありました。今は入会してもらって、即レッスンをしていただいたりで(それはそれで実践力が身につくと思いますが)、不安や悩みがおありではないかと。いや私自身5年以上オリーブにいても、毎回違う教材なので、まだまだ悩んでばかりです。

そこで、オリーブ通信の紙面を借りて、「いろんな悩みを紹介」→「それに対するアドバイスを紹介」というリレーをしてみようと考えました。悩みだけでなく、「小さな成功体験」も語ってくれたら、みんなのヒントになるかもしれません。

授業の組み立てと教授法について

授業の組み立て方についてアドバイスを頂きたい。

*例文を多く作りたいが、よい例が見つからない。何か参考になる本があったら教えてください。

*この その あの どの
これ それ あれ どれ 違いの説明ができません。



「ら抜き言葉」をどう扱うか？

「この食品、賞味期限が過ぎてるけどまだ食べられる」の「食べられる」を「食べれる」と言う人が50歳以下の日本人の場合多数を占めると言われています。ということは、あと30年もすれば「正しい文法」も変わってしまう。これは「読む」の可能動詞「読める」が生まれたのが明治時代ですから、「食べれる」という可能動詞を認めれば、150年ほど前に五段動詞で起こった変化が、現在一段活用について起こりつつあると考えることもできます。

このような変化を生徒さんにどの段階でどのように教えるべきか迷います。いわゆる「バイト敬語」や「さ入れ言葉」など、日常耳に入ってくる、現在の文法から見たら明らかに間違いだが、使われているものを単に「間違いである」と説明する気に「なれないのは私だけでしょうか？」(田中三)

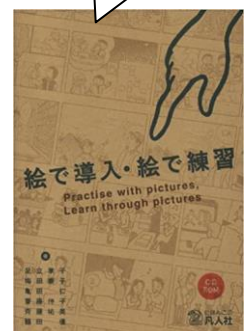
上の悩み、ご意見への返信をお寄せください。「教授法・文法的見解」、「わたしはこうしている・こうしてみた」という実践的なご意見、「おすすめの本」など。また直接ご本人にアドバイスして下さってもけっこうです。さらに、授業の悩み、工夫、募集します！

CDROM
付属

小さな成功体験

初級では、読む力も十分でないのに、テキストの練習問題を読んで解いてばかりでは学習者さんも疲れる。しかし、自分のことを語ってもらおうとすると、自分の文法力を越えた内容を言おうとして失敗する。そこで、思いついたのが絵を使って文を作る練習。『絵で導入・絵で練習』というテキストは、「～なくてもいいです」「～たら」などの句型ごとに、イラストがいくつか載っています。それを見て、文を作るという練習に使います。便利なのは、学習者さんの文法力の差にかかわらず、直感でイラストの意図を推測できること。また、伝えることが大事なので、少し違う表現でもかまわないというアバウトさがむしろ実践的かと。たとえば、右のイラストは「夏休みがあったら、海に行きます」という例文ですが、「海に行きたいです。」でもいいし、「夏休みになったら」でもいいです。(しかし、この場合「あったら」と「なったら」の違いを説明せねばならないという困難に直面するのだが)

学習者さんの表情を見ていると、文字ばかりの問題を見ると緊張するけど、文字がなくてイラストだけだとホッとする感じがします。これは絵カードでも言えますね。90分の授業の中で、後半部分にこれを使ってリラックスしてもらいます。(フクイ)



先生たちのリレーエッセイ すえどみ たくじ 末富 巧二さん

オリーブに参加させてもらって2か月になろうとしています、なかなか皆さんと話をする機会も有りそうにないので、今までの外国人との関わりについて紹介させていただきます

20代後半（1980頃）



英会話を始めました
先生は大学を卒業したばかりのアメリカ人で、先生の資格はありません。この当時アメリカでは大学卒業後、仕事を始める前に世界を旅行するのが流行っていたようです
会話力の進歩は別にして、外国人と向き合うのが怖くなりました、困っている外国人がいたら今でも話しかける様になっています

20代後半（1980頃）

会社はグローバルの技能、技術研修を始めました（アメリカ、オーストラリア、イタリア、タイ、パキスタン、マレーシア、フィリピンなど）私は運営メンバーでした



20代後半（1980頃）



サウジアラビアに工場建設計画があり、メンバーとして参加しました
・男性のシンボルとして口ひげを生やしました
・現地の人がお祈りをするコーランを毎日5回聞きました
・ラマダンも見してきました
(外国人（イスラム教徒以外）は関係ありませんでした)

30代前（1985頃）

中国（湖北省黄石市）には生産設備の立ち上げに行きました、この当時は北京の近くで馬車が走っていました。滞在したホテルでは夜には部屋に入ろうとするネズミがドアを引っ掻いてしていました。3匹捕まえました
だから今の中国の発展速度には驚かされます



40代後半（2005年頃）



タイにも工場があり、数回行きました
私はタイ語での会話もできないし、文字も読めないで英語の話せない人とはいくら顔見知りでもコミュニケーションができないことを実感しました
タイ語の勉強は発音の難しさから断念しました

40代後半～（2000年-2010年頃）

フィリピンには知り合いの家族ができ、一度行くこと一週間くらい宿泊をさせてもらっていました。
知り合いになった頃は一週間に3時間くらい電話で会話していました、3年くらい続けたら問題なくコミュニケーションが取れるようになりました



近所の警察官から拳銃を買ってもらえないかと持ち掛けられましたが、さすがに断りました。

50代～（2005年頃～）



会社は又グローバルでの技能研修会、を始めました。更に結果の確認手段として技能競技大会を始めました
私はずっと研修会や競技大会運営に携わってきました。規模もだんだん大きくなり、各国の通訳の果たす役割は大きくなっています。
そのうちAIに取って代わられる部分も増えてくるかもしれませんがもうしばらく時間がかかりそうです
特に技能の言葉にできない部分の伝え方などです。

現在は退職して身体の健康維持、頭の健康維持が必要だと思って生活をしています
身体の健康維持では毎日の散歩（目標：8000歩）と筋力の維持のための運動をしています
頭の健康維持では、中国語の語彙の増量と、その語彙に対応する英語の確認をしながら記憶力の維持に努めています
オリーブへの参加は頭の健康維持の一つとされていて特別強い思いはありませんが、担当した生徒さんには依頼される内容を責任をもって与えていけるよう努力していくつもりですので、今後ともよろしくお願いいたします

、「



先月の活動(5月)

日本語教室 5/8(M), 15, 22, 29 (4回)
5/8 (土) キラリエへ引越 (有志)
5/16 (日) オリーブ総会



今月の活動予定 (6月)

日本語教室 6/5(M), 12, 19, 26 (4回)
6/28 (月) コミュニティ事業団評議員会 (恩地)



お知らせ

吉田瑛美さんに情報を頂きました。

音楽の祭日 2021 in みんなく

2021・6月6日～6月27日

オンライン開催・視聴無料!

「音楽の祭日」はプロ・アマを問わずにみんなで音楽を楽しむイベントです。昨年はコロナの影響で中止となりましたが、今年はオンライン開催します。上記の期間、特設サイトにさまざまな音楽を動画でお楽しみいただけます。



さまざまな演目の一部を紹介すると
「RED-B&YUKA DUO」 西アフリカの太鼓ジェンベの演奏
「ウォンドントリータイ」 タイ王国の民族楽器の演奏とダンス
「Chadra Baskara」 バリ島のガムラン音楽
Capoeira Berimbau Orchestra ブラジルの打楽器と歌

日本人による演目もいろいろ
「交野ヶ原・交野節 おどり保存会」・「天満バンドワゴン」・「薩摩琵琶演奏」
「ロボットバンド with テルミン」
総勢20組による演奏。ダンスなど、を YouTube で視聴できます。

くわしくは、こちらで確認→ <https://ongaku.s-minpaku.com/>



参加人数(5月)

	5/8	5/15	5/22	5/29
学習者	27人	22人	27人	18人
先生	21人	17人	18人	18人



会員の動き (5月)

〈入会〉〈休会〉なし

〈退会〉古川 雪峰さん



編集後記: 「まちづくりセンターの最後の授業の記録を残そう」という提案をいただき、急遽、授業の後に記念撮影。いつもならフレーミングでカットする天井や壁も、今回は広めに残しました。オリーブはここで生まれ、26歳まで活動したんですね。

そのうち、まちセンの記憶を知らない世代が、学び、教える日が来るのでしょうか。

まちセン、

26年間ありがとう!